

# 新しい時代の学びに対応するために

## ～授業での1人1台タブレット利用に向けた準備始まる～



3年 総合的な学習での  
プログラミング学習



5年 国語での活用

国のGIGAスクール構想の一環として行われている本工事ですが、ハード面の整備が完了した後、これらの情報通信技術（ICT）をどのように教育（授業等）に活用していくかが重要になってきます。

今、学校では、これまでの教育実践の蓄積とこの情報通信技術（ICT）を活用した授業とを連携させながら、授業改善に向けた取組を進めているところです。

パソコン室に行かなくても、各教室で一人一台のタブレットPCを用いた授業ができるように、①各教室に無線LANアクセスポイントの設置、②将来の高速大容量の通信に対応するための校内LANの改修、③タブレットPCへの充電機能を備えた「保管庫」の設置に向けた工事が、今、毎週土・日曜日に行われています。（十二月末までには、工事が完了し、一人一台のタブレットPCも配付され、来年一月から授業で使用できる予定です。）



# 文政小 第12号

学校便り  
文責  
生田 文明

では、なぜ今、急ぎGIGAスクール構想が進められているのでしょうか。一つは、ビッグデータや人工知能、ロボットテクノロジーなど先端技術がより高度化し、産業や社会生活に浸透していくことで、現在の社会の在り方そのものが劇的に変化することが予想され、それに対応できる人材を育成することが求められているからです。二つ目は、この社会変化は世界中で起きているので、グローバル（国際化）の視点からも求められています。三つ目は、今のコロナ禍の中、もし、学校が休校になっても、自宅で子供たちの学びの保障ができる環境を構築する必要があるからです。

GIGAスクール構想によって新たに変わろうとしている教育。これを流行とすれば、いつの時代になっても大切にしなければいけない教育（命・人権等）もあります。これは、教育の不易の部分といえるでしょう。不易の部分を大切にしながら、それぞれの時代で必要とされる流行に対応し、今後の教育を進めていかなければなりません。それが、まさに今、現在進行形で行われているところです。

## 読書月間の取組



十一月は、読書の秋にちなんで、子供たちに読書に親しんでもらおうと、①～④の取組を読書月間として行いました。

①一回三冊の貸し出し、②読書クイズ、③読書ビンゴ、④お楽しみ袋による貸し出し。

また、十六日～二十三日までの期間で各家庭に、「家族ふれあい読書」に参加していただきました。各家庭での取組ありがとうございました。

さらに、全校で読書感想画にも取り組み、市読書感想画コンクールに出品しました。

審査の結果、左の作品が特選となりました。おめでとうございます。なお、★印の作品については、十二月に八代市立図書館に展示されます。



★3年 小林杏空 さん



★2年 高竹ななみ さん



2年 内藤莓香 さん



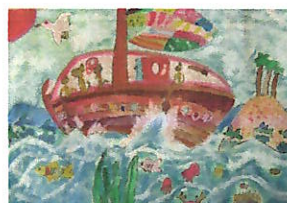
2年 平野月菜さん



5年 濱本花凜 さん



★5年 満田麻冬 さん



4年 萩本椎奈 さん



★4年 勇虎太郎 さん